

学校関係者各位

学校法人未来学舎
 松本情報工科専門学校
 学校長 千村 重平
 (公印省略)

「平成28年度 自己点検評価報告書」の公表について

平成28年度における当校の自己点検・評価を行い、結果を報告書としてまとめましたので、公表いたします。報告書の改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育活動の更なる向上をめざします。今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

概要

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

大項目	前回平均 H28年3月	今回平均 H29年3月	平均点の概要説明
1. 教育理念目標	3.0	3.0	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
2. 学校運営	2.7	2.7	【ほぼ適切】に近い状態であるが、改善を必要とする部分がある。
3. 教育活動	2.9	3.3	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
4. 学修成果	3.0	3.2	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
5. 学生支援	2.7	2.8	【ほぼ適切】に近い状態であるが、改善を必要とする部分がある。
6. 教育環境	2.9	2.9	【ほぼ適切】に近い状態であるが、改善を必要とする部分がある。
7. 学生の受入れ募集	2.9	3.3	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
8. 財務	2.5	2.8	【ほぼ適切】に近い状態であるが、改善を必要とする部分がある。
9. 法令等の遵守	2.9	3.2	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
10. 社会貢献地域貢献	2.8	3.0	【ほぼ適切】に近い状態であるが、改善を必要とする部分がある。
学校全体	2.8	3.0	【ほぼ適切】な状態である。今後、現状維持以上を目指す。
現 状	前回と比較し 0.3ポイント以上変化のあった項目に対して、色付けをして表示している。「3. 教育活動」の評価が大きく改善している。自動車整備学科のインターンシップの実施や、情報システム学科の国家試験の高い合格率を反映しているものと思われる。全体的に横ばいか改善傾向にあると考えられるが、まだ点数が低く改善の余地がある項目もある。		
今後の改善策	自動車整備学科が職業実践専門課程に認可されてから2年が経過し、昨年より職員の理解が進んだ部分が評価にも現れている。「3. 教育活動」の評価が良いことは、教育の中身が改善されていることを示し、重要であると考え。組織体制に弱い部分があるが、学校法人の方向性を検討するプロジェクトの発足により体制も整備されていくものと考え。		

2016年度 学校自己評価

2017年3月
松本情報工科専門学校

1. 松本情報工科専門学校の教育目標

工学を实践する技術者として、社会から期待される知識と技術を持ち、どのような職場でも歓迎される人格を兼ね備えた人材を育成する。

2. 2016年度の目標と計画

- ①公のイベントへの参加や高校訪問を強化し、学生募集に努める。
- ②学生による授業評価アンケートを実施し、職員の学生対応力の向上に努める。

3. 評価項目

(適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

(1). 教育理念・目標

	評価項目	前回	今回
1	・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3.4	3.4
2	・学校における職業教育の特色は何か	3.2	2.7
3	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2.6	2.6
4	・学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2.6	3.1
5	・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.3	3.0
平均		3.0	3.0

①. 評価結果

平均点は前回と大きな変化はないが、特色や将来構想の点数がやや低くなっている。

②. 今後の改善方策

学校の将来構想について経営的なことも視野に入れながら計画を立て、そこから特色に落とし込んでいきたい。学校の方向性に関するプロジェクトチームが作られる予定である。

(2). 学校運営

	評価項目	前回	今回
1	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	2.9	2.6
2	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2.6	2.4
3	・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2.3	2.1
4	・人事・給与に関する規程等は整備されているか	2.4	2.4
5	・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.6	2.6
6	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2.8	2.6
7	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.0	3.4
8	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.1	3.1
平均		2.7	2.7

①. 評価結果

前回と比較して大きな変化はない。全体的に点数が低めであり、学校運営については体制に弱い部分を感じられる。

②. 今後の改善方策

本校を含む学校法人全体として体制を整えていきたい。プロジェクトチームが作られる予定である。

(3). 教育活動

	評価項目	前回	今回
1	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.0	3.4
2	・教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.1	3.4
3	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.6	3.7
4	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.9	3.3
5	・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2.9	3.0
6	・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	2.6	3.0
7	・授業評価の実施・評価体制はあるか	1.8	3.3
8	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.5	3.4
9	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.5	3.7
10	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.5	3.9
11	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.1	3.4
12	・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	2.8	3.1
13	・関連分野における先端的な知識・技能を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組みが行われているか	2.8	2.9
14	・職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.8	2.9
	平均	2.9	3.3

①. 評価結果

平均点が大きく改善している。その理由は、学生による授業評価アンケートを実施したこと、自動車整備学科が内定先へのインターンシップを始めたことなどによる。

②. 今後の改善方策

今年度の取り組みを継続して行い、学生や外部の評価をフィードバックしていきたい。

(4). 学修成果

	評価項目	前回	今回
1	・就職率の向上が図られているか	3.6	3.7
2	・資格取得率の向上が図られているか	3.2	3.7
3	・退学率の低減が図られているか	3.3	3.3
4	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.3	2.7
5	・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.3	2.6
	平均	3.0	3.2

①. 評価結果

概ね点数が向上した。情報システム学科の資格取得率の向上などが寄与した。

②. 今後の改善方策

卒業生の動向調査などを検討し、その後の把握に努めたい。

(5). 学生支援

	評価項目	前回	今回
1	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.6	4.0
2	・学生相談に関する体制は整備されているか	3.1	3.0
3	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.1	2.9
4	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	1.7	2.3
5	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.5	2.6
6	・学生の生活環境への支援は行われているか	2.1	2.7
7	・保護者と適切に連携しているか	2.7	3.1
8	・卒業生への支援体制はあるか	2.6	2.6
9	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.8	2.7
10	・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.5	2.3
	平均	2.7	2.8

①. 評価結果

平均点は横ばい。就職内定率が早期に100%に達したことを反映して、就職支援体制が満点である。

②. 今後の改善方策

学生へのさまざまな支援体制に関して、強いものと弱いものがあり、弱い部分を強化したい。

(6). 教育環境

	評価項目	前回	今回
1	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	2.9	2.9
2	・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.7	2.9
3	・防災に対する体制は整備されているか	3.1	2.9
	平均	2.9	2.9

①. 評価結果

大きな変化はなし。

②. 今後の改善方策

予算のかかる設備は計画的に整備していきたい。

(7). 学生の受入れ募集

	評価項目	前回	今回
1	・学生募集活動は、適正に行われているか	2.8	3.3
2	・学生募集活動において、教育成果は適正に伝えられているか	2.7	3.3
3	・学納金は妥当なものとなっているか	3.2	3.4
	平均	2.9	3.3

①. 評価結果

改善の傾向にある。

②. 今後の改善方策

募集活動はおおむね適正であるので、フォローアップなどによりそれを入学者の数に確実につなげていきたい。

(8). 財務

	評価項目	前回	今回
1	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	1.8	2.2
2	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.4	2.7
3	・財務について会計監査が適正に行われているか	3.0	3.2
4	・財務情報公開の体制整備はできているか	2.8	3.0
	平均	2.5	2.8

①. 評価結果

学生募集がうまくいっていない部分があり、財務基盤の点数が低くなっている。

②. 今後の改善方策

学生募集に知恵を絞り実行していくこと、また中長期的な経営戦略を打ち出していく。

(9). 法令等の遵守

	評価項目	前回	今回
1	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2.9	3.3
2	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	2.8	3.1
3	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2.8	2.9
4	・自己評価結果を公表しているか	3.2	3.6
	平均	2.9	3.2

①. 評価結果

改善の傾向にある。自己評価結果を公表していることは理解された。

②. 今後の改善方策

自己評価の問題点の改善に努めたい。

(10). 社会貢献・地域貢献

	評価項目	前回	今回
1	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.5	3.1
2	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.2	2.1
3	・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2.8	3.6
	平均	2.8	3.0

①. 評価結果

今年度は職業教育訓練を受託したため、該当項目の点数が増加している。

②. 今後の改善方策

社会貢献・地域貢献はできる範囲内で拡充をしていきたい。